

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立阿倍野区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課（電話：06-6208-8054）
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足・やや満足と回答される方」の割合
数値目標	85.2%以上(26ある老人福祉センターで実施(令和元年度～令和3年度)したアンケートの平均)
指定管理者名	社会福祉法人大阪市阿倍野区社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足と回答される方の割合
数値目標	85.2%
年度実績	89.9%
達成率	105.5%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	15,645	14,556	1,089

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	17,808,000	17,691,000	0	－
	計画	17,808,000	17,691,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入）	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
合計	実績	17,808,000	17,691,000	0	－
	計画	17,808,000	17,691,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	13,246,550	12,889,248	-853,450	－
	計画	14,100,000	14,100,000		
物件費	実績	4,041,005	2,945,388	333,005	－
	計画	3,708,000	3,591,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
合計	実績	17,287,555	15,834,636	-520,445	－
	計画	17,808,000	17,691,000		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足と回答される方」の割合	105.5%	B	新型コロナウイルスが5類移行後も感染症防止対策を継続実施する中で、本市が定める水準を概ね達成している。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・LED化及び比較見積調達による経費節減。 ・細かな空調操作による経費節減。	B	節電やLED化などの取り組みを行うなど、市費の縮減に努めた。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・消防訓練の複数回実施することにより利用者の安全管理を図っている。 ・感染症対策のため、換気やアルコール消毒の設置などの対策を実施している。
事業計画の実施状況	B	・感染症の影響により休止中であった、文化祭や認知症カフェを再開し、認知症カフェは、軽度の認知症の方を対象とした集いの場を担うなど、工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・地域医療福祉懇話会に参画し、地域医療の現状や問題点を共有するなど地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護管理で施設することで、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、節電を行うなど実効性のある取組を行っている。

5 利用者ニーズ・満足度等

（1）調査方法 センター利用者に対してアンケート調査を実施
（2）回答者167人（未記入者含む）
（3）質問項目 ア 基本的な事項（年齢、居住区等） イ 満足度 ウ 感染症による影響、所持している電子機器等
（4）結果 ・総合満足度において、満足（やや満足）と回答される方が89.9%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1.色々な取り組みがあり評価できるが、P（計画）とD（実施内容）・C（成果と課題）・A（改善）のつながりが分かりにくく、事業報告書のPDCAの書き方や説明の仕方を工夫していただきたい。また、事業計画書と事業報告書のD（実施内容）・C（成果と課題）の内容が一致するように記載していただきたい。Dには客観的実績と参加実数、Cには前年対比などの成果と、そこから見えた課題を明らかにし、Aにその改善策を記載していただきたい。
2.ZOOM等のICTを活用しながら、高齢化が進む利用者に応じたアウトリーチ事業に一層の力を入れていただきたい。
3.センターだよりは、見やすくわかりやすい点は評価できるため、このまま続けて取り組んでいただきたい。
4.口コミだけではなく、新しい利用者をもっと積極的に集めるような工夫をしていただきたい。また、ボランティア活動は引き続き取り組んでいただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	新型コロナウイルスの5類移行後も感染症防止対策の継続実施を行いながら、事前に設定した目標を概ね達成している。
市費の縮減	B	LED化や空調の徹底管理を行うなど、市費の縮減に努めた。
管理運営の履行状況	B	利用者が減少している事業が一部あったものの、コロナ禍により中止していた「文化祭」や「認知症カフェ」を再開したことや、センターから遠い地域への「お出かけ講座」を開催していることは評価することができる。 また、利用者サービスの向上策として、建物の外壁の修繕や備品の入替えなどのハード面だけではなく、館内の掲示板や廊下等に季節を感じる装飾を行うなど工夫しているところは評価できる。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性	B	本市が期待する管理運営を行なった。
総合評価		